

技術ノート KGTN 2015011601

現 象

[GGH4.X-5.X] クライアント側の既定の IME が **Microsoft IME** 以外で、かつ GG サーバーが WS2012R2 の場合、サーバー側 IME の表示が「EN」になり日本語入力が出来ない。

説 明

この問題は GGH4.8.2.22090 および GGH5.0.0.21965 で修正されておりますので、各ビルド（またはそれ以降のビルド）へのアップグレードを行うことで改善されます。

CASE#43661 The Fallback Keyboard Layout is not used on Windows 8.1 and Windows Server 2012 R2

補 足

英語版の Windows Server 2012 R2 に **Japanese Language Pack** をインストールした環境につきましては、Windows のベースとなる言語が英語ですので、仕様としてサーバー側 IME の表示が「EN」になります。

過去の説明

下記の情報は暫定的な対処法で、将来リリースされるビルドで解決される見込みです。

方法1: クライアント側の既定の IME を **Microsoft IME** に変更する。

方法2: クライアント側の既定の IME のレイアウトコードを得る（下記例では **E0210411**）。

サーバー側のレイアウトコード **00000411** の内容をコピーし、そのレイアウトコードの情報を登録する。
HKLM¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Keyboard Layouts¥E0210411

00000411	名前	種類	データ
	(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
	Layout Display Name	REG_EXPAND_SZ	@%SystemRoot%¥system32¥input.dll,-5061
	Layout File	REG_SZ	KBDJPN.DLL
	Layout Text	REG_SZ	Japanese
E0210411	名前	種類	データ
	(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
	Layout Display Name	REG_EXPAND_SZ	@%SystemRoot%¥system32¥input.dll,-5061
	Layout File	REG_SZ	KBDJPN.DLL
	Layout Text	REG_SZ	Japanese

過去の補足

技術的には上記の方法2の通りですが、弊社開発のツール **GGKeyboardLayout** を使用した簡単な設定手順を以下に示します。

1. クライアント側の既定の IME のレイアウトコードを得る方法

GGKeyboardLayout をクライアント側で起動し、「環境参照」ボタンをクリックして下さい。「レイアウト情報 #1」に表示される値が、クライアント側の既定の IME のレイアウトコードです。下記の例では **e0200411** が既定の IME のレイアウトコードになります。

2. サーバー側に（クライアント側の）レイアウトコードの情報を登録する方法

GGKeyboardLayout をサーバー側で起動し、上記1で得た（クライアント側の）既定の IME のレイアウトコードを「レイアウト情報#1」に入力して下さい。そして、「環境設定」ボタンをクリックして下さい。



なお、「環境設定」ボタンが表示されない場合は権限が不足していますので、**GGKeyboardLayout** を「管理者として実行」で起動して下さい。

Last reviewed: Oct 20, 2015
Status: DRAFT
Ref: CASE#43661
Copyright © 2015 kitASP Corporation